

新型コロナウイルスワクチン接種事業について

1. ワクチン供給スケジュール

	宇治市への供給量	国からの供給量（全国）
4月5日の週	64バイアル（320回分）	
4月12日の週	115バイアル（575回分）	高齢者施設の入所者と職員に接種
4月26日の週	7箱・1,365バイアル （6,825回分）	
5月3日の週		4,000箱
5月10日の週	23箱・4,485バイアル （26,910回分）	16,000箱
5月17日の週		
5月24日の週	20箱・3,900バイアル （23,400回分）	13,000箱
5月31日の週		
6月7日の週	22箱・4,290バイアル （25,740回分）	13,435箱
6月14日の週		
6月21日の週	22箱・4,290バイアル （25,740回分）	13,434箱
6月28日の週		

※5月3日の週までの括弧内の回数については、一般的な注射器で、1バイアルあたり5回分のワクチンを採取できるとされていることから、バイアル数の5倍としている。

※5月10日の週以降の括弧内の回数については、この週以降、1バイアルから6回分のワクチンを採取できる特殊な注射器が供給されることから、バイアル数の6倍としている。

2. 高齢者ワクチン接種スピードアップの取組み

高齢者へのワクチン接種をスピードアップし、7月末日までに接種を希望する高齢者全員が2回目の接種を終了できるよう、関係機関との連携・協力のもと、平日（月曜日から土曜日）の集団接種を実施する。

(1) 実施期間

令和3年6月14日から7月24日までの約6週間

・1回目接種期間 6月14日（月）～7月 3日（土）

・2回目接種期間 7月 5日（月）～7月24日（土）

※具体的な実施日は調整中

(2) 会場

ア 月曜日～金曜日 宇治市文化センター

イ 土曜日 宇治市役所1階ロビー

(3) 時間

午前・午後の実施時間については、接種体制に応じて検討中

(4) 接種人数（目標）

8,000人以上

3. ワクチンの廃棄を減らす取組み

キャンセル等が発生した場合に、余ったワクチンの廃棄を極力減らすため、高齢者との接触頻度が高いエッセンシャルワーカーである在宅介護保険事業者の従業員を対象に、すぐに会場に駆けつけてワクチン接種を受けていただける方の登録バンクを作る。

(1) 対象者

居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、通所・訪問介護事業所等の在宅介護保険事業所の従事員

(2) 事業の流れ

ア 事前段階

①接種バンク登録事業所を募集



②バンク登録事業所において接種希望者リストを作成



③接種医療機関等に、接種バンク登録事業所リストを送付

イ 接種日当日

①ワクチンに余りが生じた場合、医療機関から接種バンク登録事業所に連絡



②連絡を受けた接種バンク登録事業所において、すぐに接種医療機関へ駆けつけられる従事員に連絡
連絡を受けた従業員は、すぐに接種会場に駆けつける



③接種会場にて、従事員がワクチン接種を受ける

4. ワクチンWEBシステムについて

宇治市が当初導入を予定していた、新型コロナウイルスワクチンWEB予約システムについて、セキュリティ上の問題が見られ、改善に時間を要することから導入を見送り、新たに、他の自治体で既に運用実績があるシステムを導入することを決定し、早期にご利用いただけるよう取り組んでいる。